



せいしよ
聖書

サムエル上 1・1～20

テ — マ

神のみわざの始まり

あんしょうせい
暗唱聖句

ハンナは心に深く悲しみ、主に祈って、はげしく泣いた。

サムエル上 1・10

もく
目 標

苦しみの中にあっても神が働かれることを信じ、神に祈る者となる。

1 月 6 日 (日)

せいしよ
聖書

サムエル上 1・10

せいしよ
聖書

ハンナは心に深く悲しみ、主に祈って、はげしく泣いた。 10節

あなたには、自分にしかわからないと思うような悲しみはありますか？人間だから、生きていれば毎日楽しいことばかりじゃなく、辛いことも沢山ありますね。

そんな時、誰かに悲しみをぶつけたりしないで、心をまっすぐに神様に向けてお祈りしてみて！あなたをお母さんのお腹の中で組み立て、この世界に生まれさせてくれた神様は、誰よりもあなたの悲しみを知っていてくれるよ。そして神様はあなたのお祈りに応えて、悲しみを喜びに変え、一番良い道に導いてくれるからね。

いの祈り 天のお父様、悲しみの時はあなたに心をまっすぐ向けてお祈りします。一番良い道に私を導いてください。

1 月 7 日 (月)

せいしよ
聖書

サムエル上 1・1～2

せいしよ
聖書

ペニンナには子どもがあったが、ハンナには子どもがなかった。 2節

エルカナには二人の奥さんがいました。沢山の子どもを産むことは、神様の祝福だと考えられていた時代だけど、ハンナには子どもがいません。赤ちゃんが欲しいのにいないことは、女の人には本当に辛いこと。そのうえ、もう一人の奥さんに赤ちゃんを産めないことでいじめられていたのです。ハンナはとても傷つき、苦しみながら毎日を過ごしていました。

それでも、ハンナは本当の神様がいて、神様はどんな悲しみも知っていてくれることを信じていたのです。

いの祈り 天のお父様、わたしたちの悲しみや涙を知っていてくださり感謝します。

1 月 8 日 (火)

せいしよ
聖書

サムエル上 1・5

せいしよ
聖書

主がその胎を閉ざされたからである。 5節

何か辛いことが起きた時、あなたは思う？運が悪かった？自分が悪い子だから？それとも神様のいじわる？ いえいえ。

ハンナも、きっと赤ちゃんが産めなくて、自分を責めることもあったでしょうね・・・でもね、「“主が”その胎を閉ざされた」ってあるように、辛いことや悲しいことにも神様の理由があるみたい。神様は悲しみの向こう側に、沢山の喜びを用意してしてくれるお方！そして、自分と同じように悲しんでいるお友達の気持ちに気づける子どもに成長させてくれるお方！どんな時も神様がすることに期待をしようね！

いの祈り 天のお父様、辛いことの中にもあなたの理由があることを信じます。あなたのすばらしさを見せてください。

1月9日（水）



サムエル上1・6～11

ハンナは心に深く悲しみ、主に祈って、はげしく泣いた。10節

エルカナのもう一人の奥さん、ペニンナはいつもハンナにいじわるをしていました。ハンナは悔しくて、悲しくて、いじけて、ごはんも食べられない時があったみたい。エルカナはハンナを慰めようとしたけれど、ハンナの心には届かなかったの。でも、ハンナはペニンナに仕返しをしたり、エルカナに文句を言ったり、神様に「あの意地悪な人をやっつけてください」とお祈りしたりしませんでした。ハンナは「神様が願いを聞かれたら、子どもを神様に捧げます。神様のために働く子どもにします」とお祈りしたの。自分のためだけを思わず、神様のことを思うお祈りを神様は聞かれるのです！！

祈り 天のお父様、わたしも辛い時、人に文句を言ったり仕返ししたりせず、あなたが聞かれるお祈りができますように。

1月10日（木）



サムエル上1・12～16

ただ主の前に心を注ぎ出していたのです。15節

神殿には祭司でエリという名前の人がいました。教会にいる牧師先生みたいな感じだよ。エリはハンナがずっとブツブツ言ってお祈りしていたから、酔っぱらいだと思ったの！きっと酔っぱらいに見えるくらい一生懸命祈っていたんだね。しかも、ハンナは、今まで自分を責めたり、ハンナをいじめるペニンナのことを怒っていたこと、自分じゃどうしようもない悪い気持ちを「神様、解決してください」ってお祈りしていたの。悪い心のままじゃいけないことをわかっていたから、必死になってお祈りしたんでしょね。あなたのお祈りはどうですか？

祈り 天のお父様、わたしも解決しないとイケない悪い気持ちがあるとき、ハンナのように「心を注ぎ出して」お祈りしていきます。

1月11日（金）



サムエル上1・17～18

安心して行きなさい。どうかイスラエルの神があなたの求める願いを聞きとどけられるように。17節

心配な事、辛い事がある時、一人で悩んで「わたしのお願いなんて神様は聞いてくれるの？」なんて、もっと不安になってしまふことはない？そんな時、教会の先生に相談してごらん！教会の先生は、どうしたらあなたが神様から祝福をもらえるか、神様はどう教えているか、イエス様ならどうするかを聖書の中から教えてくれるよ。そして、一緒にあなたの心配がなくなるようにお祈りしてくれるからね。

ハンナも、神様にお祈りし、祭司エリからもお祈りしてもらって元気を取り戻したよ！

さあ、教会に行こう！

祈り 天のお父様、わたしのためにお祈りしてくれる教会の先生をありがとうございます。

1月12日（土）



サムエル上1・19～20

「わたしがこの子を主に求めたからだ」といって、その名をサムエルと名づけた。20節

「困った時の神頼み」って知ってる？悩み事や困った事があると一生懸命になって神様に「聞いてください！」ってお祈りする人は沢山いるんだ。でも、願い事がかなった瞬間、「神様が」そのお願いに答えてくれたことを忘れて「ありがとう」を言わない人も沢山いるんだよ。

ハンナは赤ちゃんを産んだ時、そのことを「神様からのお祈りの答え」だと受け止めたの。そして、心から感謝して、サムエルを神様のため、人のために役に立つ人間になるように捧げたんだ。あなたも、感謝を神様に返すことを忘れないでね！

祈り 天のお父様、お祈りに答えてくださるあなたに感謝をお返しできますように。



せいしよ しょ
聖書

サムエル上 3・1～14

テ マ

神の御声を聞く

あんしやう せい いく
暗唱聖句

しもべは聞きます。主よ、お話しください。

サムエル上 3・9

もく ひやう
目標

日々、神の御声を聞いて生きる。

1月13日(日)

せいしよ
せい いく
聖書
聖句

サムエル上 3・9

しもべは聞きます。主よ、お話しください。 9節

神様は、どんな人にお話ししてくれると思いますか？大人の人？偉い人？教会の先生？

神様は、小さな子どもだとしても、大切なことをお話しすることがあります。「しもべは聞きます！」と素直に聞いて従う心になる時、あなたも神様の声に気づくはず！

神様の愛がどんなに大きいのか、あなたの罪のこと、イエス様の十字架のこと、沢山のことがただ「ふ～ん」って聞くんじゃなくて、自分のためだってことがわかるんだ。

小さなサムエルも、神様の言葉を聞き逃さないように、心の耳もすまして聞いたんだよ。

いの 祈り

天のお父様、サムエルのような素直に聞いて従う心で、あなたの話を聞きます。

1月14日(月)

せいしよ
せい いく
聖書
聖句

サムエル上 3・1

そのころ、主の言葉はまれで、黙示も常ではなかった。 1節

あなたは、聖書がなかったら、教会がなかったら、教会の先生がいなかったら、どうやって神様の気持ちや神様の言葉を知るの？

神様は、人間を「神のかたち」に似せて特別に造ってくださいました。神様の気持ちや言葉がわかるようにしてくれたりってことだね！でも、人間は自分勝手な事ばかりして、簡単に神様を捨ててしまうんです。神様の言葉を聞こうとしないから、神様の言葉が聞こえなくなってしまうんだね。サムエルの時代もそうだね。神様のお話しの聞き取りにくい時代でした。

いの 祈り

天のお父様、こんな時代にも聖書や教会の先生から、あなたの言葉を聞くチャンスをくださり感謝します。

1月15日(火)

せいしよ
せい いく
聖書
聖句

サムエル上 3・6

主はまたかさねて「サムエルよ、サムエルよ」と呼ばれた。 6節

あなたは神様にどんなお祈りをしますか？

「神様、ああしてください。こうしてください」と、一生懸命にお願いはするかもしれませんがね。

お祈りはね、神様とお話しする時間です！お友達とお話しする時、あなただけがしゃべってるなんてことはないでしょう？

聖書には、神様があなたにお話ししたいことがいっぱい詰まっているよ。そして、サムエルが神様のお話しを一生懸命聞こうとしたみたいに、聖書の一枚一枚を見てみて！神様はサムエルを呼んだみたいに、あなたに呼びかけ、大切なお話しを沢山してくれるでしょう。

いの 祈り

天のお父様、お願いばかりのわたしですが、あなたのお話しを聞くために聖書の一枚一枚を読みます。

1月16日(水)

聖書
聖句

サムエル上3・2～9

サムエルはまだ主を知らず、主の言葉がまだ彼に現されなかった。
7節

サムエルが、神の箱のある神殿で寝ていた時、「サムエルよ、サムエルよ」という声で起きました。きっとエリが呼んだんだと、エリの所へ行ったけどエリの声じゃなかったの。それが三回も続いたから、エリはそうか!と気づきました。そしてサムエルに、それは神様の声だから「しもべは聞きます。主よ、お話しください」と言うよう教えました。エリは長い間 神様のために働いてきた人だからわかったんだね。

今日も、神様はあなたを呼んでいるかもしれないね。そのことに気づかせてくれる人がいる時は、聞く心の準備をしてくださいね。

祈り 天のお父様、だれかがあなたの声に気づかせてくれるなら、素直に聞きます。

1月17日(木)

聖書
聖句

サムエル上3・10～11

それを聞く者はみな、耳が二つとも鳴るであろう。
11節

神様がわたしたち一人ひとりにお話ししてくれるのはとっても素晴らしいこと!

でも、神様のお話しはいつも嬉しい事、楽しい事、幸せな事ばかりでしょうか? いいえ!

「もう聞きたくないよ! 嫌だよ!」って思うような厳しいこともお話しするの! なんで?

神様は、聖いお方。わたしたちが、自分勝手や罪があるままでは永遠に滅んでしまうことを悲しく思っておられるんです。もし、あなたが神様を信じるのなら、嬉しいことばかりではなく、耳がガンガンするくらい厳しいことも聞かなければなりません。あなたは神様のしもべ、神様の子どもなんだから!

祈り 天のお父様、厳しいお言葉も聞きます。わたしはあなたの子ども、あなたのしもべです。

1月18日(金)

聖書
聖句

サムエル上3・12～14

その子らが神をけがしているのに、彼がそれをとめなかったからである。
13節

サムエルは神様からどんなことを聞いたのでしょうか。

実は、エリには子どもがいたんだけど、神殿で礼拝に来た人達が、神様に捧げたものを取っては食べていました。神様のものを奪う罪です!

神様は悔い改めるチャンスを与えましたが、だれも悔い改めようとはしませんでした。

サムエルは、エリの子どもだけではなく、子どもの罪を止められなかったエリも、エリの家も、永遠に裁かれることを聞いたのでした。

神様を恐れ仕える人への責任の厳しさ!

祈り 天のお父様、だれかの罪を見たなら、いい加減にせず、止められますように。

1月19日(土)

聖書
聖句

サムエル上3・12～14

エリの家が悪は、犠牲や供え物をもってしても、永久にあがなわれないであろう。
14節

人間は、神様から遠く遠く離れているなあ!

と思います。神様と人間を離れさせているもの、それは悪魔です。人間が、悪魔を喜ばせ、神様を悲しませる生き方をするようにと、悪魔は昔も今も必死で働いているんです。

神様を信じている人なら大丈夫? いいえ、教会の中にも、神様を信じているからと安心している人にも、悪魔は入り込んでくるのです。

悪魔の働きに負けないようにするにはどうしよう? ただ毎日、神様の言葉を聞き、従うほかありません!

祈り 天のお父様、悪魔に負けてあなたから離れませんように! 言葉を聞きます!



せいしよ
聖書

サムエル上 16・6～13

テーマ

心を見られる神

あんしょうせい
暗唱聖句

人は外の顔かたちを見、主は

心を見る サムエル上 16・7

もくひょう
目標

心を見られる神に喜ばれるように生きる。

1月20日(日)

せいしよ
聖書
せいしよ
聖句

サムエル上 16・7

人は外の顔かたちを見、主は心を見る 7節

あなたが王様を選ぶなら、どんなことが一番大切だと思えますか？筋肉モリモリでなんでもできること？天才で難しい問題も解決できること？背が高くイケメンであること？

イスラエルの人達の最初の王様サウルも、背が高くカッコよかったの。でもサウル王様は自分勝手に、神様に従うことをやめてしまったんだ。神様はとても悲しんで、サウルではない別の王様を選ぶことにしたの。

神様が喜ばれ、選ばれる人は、その心がまっすぐ神様に向かっていて、神様に一番に従える人だということを忘れないでね。

祈り 天のお父様、わたしの心も、自分勝手ではなく、あなたに従う心でありますように。

1月21日(月)

せいしよ
聖書
せいしよ
聖句

サムエル上 16・6

サムエルはエリ阿布を見て、「自分の前にいるこの人こそ、主が油をそそがれる人だ」と思った。 6節

サムエルは、神様に、エッサイという人に会いに行くよう言われました。エッサイの子どもたちの中に、新しく王様になる人がいるからです。

サムエルがエッサイの子どもたちに会った時、まずエリ阿布を見て「なんて立派で健康でかっこいいんだ！この人が王様になるんだな！」と思いました。でも、サムエルが見ていたのは、どんなにかっこいいか、立派か、健康そうか、強そうか、という見た目のことでしかありませんでした。あなたは人を「見る」時、どんな風に見ていますか？

祈り 天のお父様、いつも人の見た目ばかり気にするわたしをゆるしてください。

1月22日(火)

せいしよ
聖書
せいしよ
聖句

サムエル上 16・7

顔かたちや身のたけを見てはならない。 7節

どうしてカッコ良さとか背の高さとかで人を見ちゃいけないの？

あなたが大切なことを決める時、人のカッコ良さや身長や頭の良さだけで決めるということは、例えば、本の表紙だけ見て全部読んだ気になってるのとおんなじ事なんだよ。表紙の部分が大切なんじゃなく中身が大切！そうでしょ？

あなたもそう。神様は見た目のあなたではなく、中身のあなた、本当のあなたのことを見ておられるんです。

神様が本当のあなたを見てくださるように、あなたも、人を見る時には見た目でなくて、その中身を見ることができるようになってね！

祈り 天のお父様、わたしも人の見た目でなく、中身の部分を見ることができるようになりますように。

1 月 23 日 (水)



サムエル上 16・8～10



主が選ばれたのはこの人でもない。
10節

サムエルは、エッサイの7人の子どもに会いましたが、神様は心を見て、7人とも王様になる人ではないと言われました。

神様の答えには「NO!」があります。神様に従わない心がある時、自分勝手に生きる心がある時、間違った道を行こうとする時、神様は「そうではない。わたしはそれを喜ばない!」と言われるのです。

それは、あなたが最高の人生を歩むため、あなたが神様に喜ばれる一番良い答えを見つけるため、悪魔に負けないで永遠の命をもらうためなのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたが「違うよ」という時は、わたしに一番良い答えを用意してくださる時だと信じます。

1 月 24 日 (木)



サムエル上 16・11



彼がここに来るまで、われわれは食卓につきません。
11節

7回も神様の「NO!」を聞いたサムエル。でも、サムエルは信じていました。今日、素晴らしい王様が誕生するって! エッサイにはまだ他に子どもがいて、その子に会うまでは絶対あきらめないって言ったの!

神様が「そうじゃない! それはいけない!」とあなたの心に何回も言われたら、すぐにあきらめたり、すねたり、やっぱり神様に従うより自分の思う通りしたいと思いませんか?

でも、それは神様からあなたへの信仰のテスト! 神様が喜んでくれる答えを見つけるまでは絶対にあきらめてはいけないのです。どんな風にあなたが答えるか、神様も見えておられるのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたが喜んでくださる答えをもらえるまであきらめないで求めます!

1 月 25 日 (金)



サムエル上 16・12～13



立ってこれに油をそそげ。これがその人である。
12節

ついにサムエルは、ダビデという少年に出会いました。ただ見た目が美しいだけではなく、きらきら輝く目の奥に、とても美しい心が見えるようでした。その時、サムエルは、神様がダビデを選んでおられることがわかって、ダビデに特別なお祈りをしました。すると、ものすごい神様の力がダビデを包んだのです!

神様が選び、神様が喜ばれる特別な人には、神様の大きくてすばらしくて、ものすごい力が注がれるんだね!

神様を信じるあなたも選ばれた特別な人! 神様の大きな力に包まれているよ!

いのちの祈り 天のお父様、日本の中でわたしたちを選んでくださり、いつも大きな力で包んでくださってありがとうございます。

1 月 26 日 (土)



使徒13・22



彼はわたしの心になった人で、わたしの思うところを、ことごとく実行してくれるであろう。
22節

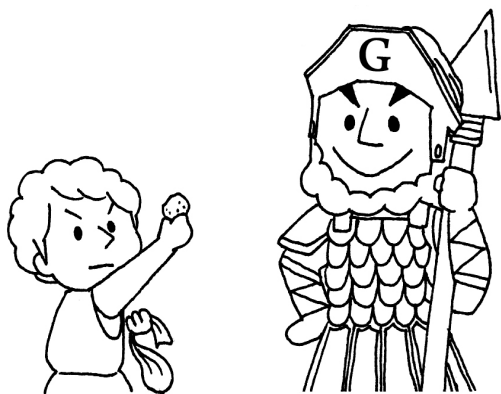
神様は、ダビデのどういう心を良いと思って選ばれたの?

ダビデはね、こういう人でした。

- ① 神様が願っておられることを行うことが自分の喜びだった。
- ② 神様がいなくては生きていけないと思うほど神様に頼る人だった。
- ③ 神様が喜ばない罪がある時は、心から、素直に悔い改める人だった。

わたしたちもダビデのような、神様を頼り、従い、素直に悔い改める心でいようね!

いのちの祈り 天のお父様、あなたに頼って生きます。ダビデのような心で毎日を過ごせますように。



せいしよ
聖書

サムエル 上 17・31～49

テーマ

大きな困難に立ち向かう

あんしやうせい
暗唱聖句

主は救を施すのに、つるぎとやりを用いられないことを知るであろう。

サムエル 上 17・47

もく
目標

共におられる神に信頼して、大きな困難にも立ち向かう。

1月27日(日)

せいしよ
聖書

サムエル 上 17・47

主は救を施すのに、つるぎとやりを用いられないことを知るであろう。
47節

わたしたちは困った事があると「どうしよう？ああしようか？こうしようか？」と考えこんでしまうね。そして、考えれば考えるほど、あんまりいい答えはでて来なくて失敗ばかり！

そんな風になる前に思い出して！！神様ならどうされるのか、神様があなたのお祈りと信仰を待っていることを！

神様は、人間が考えつかない方法で、あなたを助けられるお方、「やっぱり神様はすばらしい！」と言わせることができるお方なのです。

いの祈り 天のお父様、わたしや何かの方法ではなく、あなたの方法が一番素晴らしいことを体験できますように！

1月28日(月)

せいしよ
聖書

サムエル 上 17・34～37

せいしよ
聖句

ししのつめ、くまのつめからわたしを救い出された主は、またわたしを、このペリシテびとの手から救い出されるでしょう。
37節

身長が 286 cm、57 kg の鎧をつけた大男がいたら、きっとだれだって怖いでしょう？でもダビデはちっとも恐れませんでした。

ダビデが羊飼いをしている時、羊を襲ってくる恐ろしいライオンやくまから、神様が何度も守り助けてくれたことを知っているからです。

あなたは神様に助けてもらったこと、守ってもらったこと、ありますか？あの時、守り助けてくれた神様は、どんなことがあっても、何度でも、あなたを守り、助けられるお方ですよ！

いの祈り 天のお父様、いつも助けてくださるあなたが今日も助けてくださると信じます。

1月29日(火)

せいしよ
聖書

サムエル 上 17・38～40

せいしよ
聖句

わたしはこれらのものを着けていくことはできません。慣れないからです。
39節

ペリシテの大男と戦うことになったダビデ。王様はダビデに立派な鎧や兜をかぶらせたけど、ダビデには重く、大きく、合っていません。

そこで、ダビデはいつも自分が羊を守る時に使っている杖と小石五つと石投げを使いました。

神様を信じているダビデには特別な道具は必要なかったんだね。自分の持っている力を神様に差し出すなら、神様はその力を何倍にでも祝福して強くされると知っていたんだね。

神様を信じている人には、信じている人らしい武器と戦い方があることを知ってね！それはお祈りと、聖書の言葉と、信仰だよ！！

いの祈り 天のお父様、あなたを信じる信仰が一番の力だと信じ、感謝します。

1月30日（水）

聖書
聖句

サムエル上 17・41～44
ペリシテびとは、また神々の名によってダビデを呪った。 43節

ペリシテの大男は、ダビデを見て、こんな子どもが自分に勝てるはずはないと馬鹿にしました。それだけでなく、本当の神様ではない偶像に頼って、ダビデを呪ったというから驚き！

ダビデだけが馬鹿にされ、呪われたものではありません。ペリシテの男は、本当の神様を信じて従う人たちみんな、そして、神様ご自身を馬鹿にしているのと同じことをしているのです。神様が決して喜ばれないことがあります。それは、神様を神様と認めない事、神様を信じて従う人を馬鹿にする事です。もし、神様を信じていることであなたが馬鹿にされる時には、神様の心も一緒に傷つくのだと知ってね！

祈り 天のお父様、何があっても、傷つくことがあっても、あなたを信じて生きていきます。

1月31日（木）

聖書
聖句

サムエル上 17・45
わたしは万軍の主の名、すなわち、おまえがいどんだ、イスラエルの軍の神の名によって、おまえに立ち向かう。 45節

ダビデは、自分のためではなく、神様が傷つけられたことを怒り、大男に立ち向かいました。ダビデにとっての一番の武器は「神の名」です！

神様は、神様を信じて従う人みんなに「神の名」のしるしをつけているのを知っている？

神様のお名前のしるしがついた人は、神様のお名前で生き、お祈りし、働き、特別な武器は持たなくても戦うことができますのです！

その力は、あなたを神様から引き離そうと攻撃してくる悪魔の力にも勝つことのできる力なんだよ！神様のお名前ってすばらしい！

祈り 天のお父様、あなたのお名前前で生き、お祈りし、悪魔にも立ち向かいます！

2月1日（金）

聖書
聖句

サムエル上 17・46～47
この戦いは主の戦いであって、主がわれわれの手におまえたを渡されるからである。 47節

人生の中には色々な戦いがあるね。学校ではお友達や勉強のことで悩んだり、ある人は病気との戦いをするかもしれない。お父さんお母さんのことで悩んだりする人もいでしょう。

でも、神様を信じている人にとっては、たった一人での戦いではないんだ。本当はあなたの戦いではなく、神様の戦いなんだって！戦いの中であなたの信仰を勝たせようと願う神様が、あなたの先頭に立って戦ってくれているんだ。

だから、あなたにできることは、あなたを丸ごと神様にお任せすること！だれより強い神様があなたのために戦ってくれる心強さ！

祈り 天のお父様、色々な悩みや戦いの時に、あなたも戦ってください感謝します！

2月2日（土）

聖書
聖句

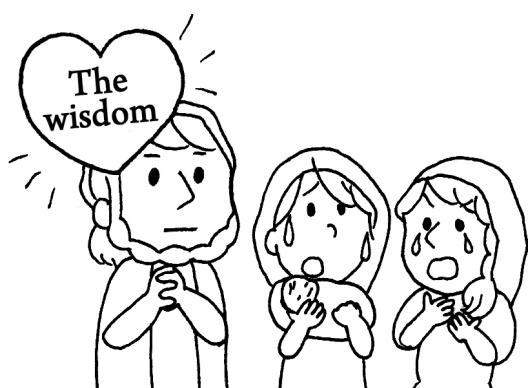
サムエル上 17・48～49
石はその額に突き入り、うつむきに地に倒れた。 49節

ダビデが投げたたった一つの石が大男の額に命中した時、だれもが恐がったあの男はばった～ん！と倒れてしまいました。大勝利！

ダビデが勝てたのは、毎日の生活で石投げと石を使っていたからだね。いつどんな敵が来ても戦える準備ができていたってことだね！！

あなたはどうか？いつ悪魔の攻撃があってもいように毎日の生活の中で準備してるかな？聖書やお祈りの武器を知っていても、毎日使っていないとどうやって戦うのかわからなくなるよ。そう、聖書を読むのも、お祈りするのも、毎日続けることが大勝利のヒントなんだ！！

祈り 天のお父様、時々お祈りしたり時々聖書を読むのでは悪魔に勝てないと知りました。毎日聖書を読んでお祈りします。



聖書
テーマ
暗唱聖句

列王上3・3～28

知恵を求める

わたしに善悪をわきまえることを得させてください。

列王上3・9

目標

神から知恵によって生きる者となる。

2月3日(日)

聖書
聖句

列王上3・3～28

わたしに善悪をわきまえることを得させてください。 9節

「ソロモン王」は「平和の王」で、神様に愛されていた王様でした。ソロモンもまた神様を愛して、お父さんのダビデ王のように歩みました。ギベオンで神様を礼拝していると、神様が夢の中で言われました、「あなたに何を与えようか。求めなさい」と。「えーっ、神様、本当ですか!？」とソロモンは驚きました。いつまでも生きること?多くの財産?いいえ、ソロモン王は「民をよく治める知恵」を求めて神様に喜ばれました!

いの祈り 天のお父様、ソロモン王様は本当に、「王様の心」をしっかりと持つあなたの心にかなう王様となりました。

2月4日(月)

聖書
聖句

列王上3・3～4

ソロモンは一千の燔祭をその祭壇にささげた。 4節

ソロモン王は主に愛されて、ソロモンもまた主を愛していたので、とても祝福されていたのですね!祭壇にささげた犠牲、それは、神様へのおささげものでしたが、「一千の燔祭」をささげたとありますから!一匹の動物をささげるだけでもとても大変だったと思います。でも、「わたしたちの罪の身代わりに」という思いで、おささげしました。ソロモンは自分たちがとても罪深い者だと知って、心からへりくだってささげたのだと思います。

いの祈り 天のお父様、ソロモンのささげ物によって、ソロモンが豊かに祝福されていたことと、へりくだった心がよくわかります。

2月5日(火)

聖書
聖句

列王上3・5～9

ギベオンで主は夜の夢に現れて言われた、「あなたに何を与えようか、求めなさい」。 5節

もし今、神様があなたに、夢の中で「あなたに何を与えようか、求めなさい」と言われたら、どうする!?!「エーッ、神様からのプレゼントですかあ?」ってびっくりしてしまいますか!「じゃ、あのゲーム!」「おこずかいたくさん!」「あのドレス!」なんて言ってしまうのかな?ソロモン王様は、さすがに神様から油注がれた王様です。「愛する民をちゃんと教え導けるようにあなたからの知恵をください」と言いました。

いの祈り 天のお父様、ソロモンが王の務めをよく果たせるよう知恵を求めたように、わたしもちゃんと生きる知恵を求めます。お与えください。

2月6日（水）

聖書
聖句

列王上3・10～15

ソロモンはこの事を求めたので、
そのことが主のみこころにかなっ
た。 10節

神様は、このソロモンの求め、願いをお聞き
になって、ニッコリされました。神様のみこ
ころにピッタリかなったからでした。わたしのお
祈りやお願いも、神様がニッコリしてくださる
ようなものかしら？神様はそんなソロモンに、
求めた知恵、「賢い、英明な心」をしっかりと
与えくださったばかりでなく、ソロモンの求め
ないものまで与えようと言ってくださいました！
スゴイ！富も 誉も、長生きの恵みをもね。

いのちの祈り 天のお父様、わたしも自分のためばかりで
なく、あなたにニッコリしていただけるような
願いをお祈りします。

2月7日（木）

聖書
聖句

列王上3・16～22

さて、ふたりの遊女が王のとこ
ろにきて、王の前に立った。 16節

さて、このふたりの女の人は何を言うために
王様の前に立ったのでしょうか？ふたりでひとつ
の家に住み、どちらも子どもを産みました。あ
る夜、ひとりの女の方が自分の子どもの上に伏
したため、その子どもは死んでしまいました。
「この人が死んだ自分の子とわたしの子とを取
り変えてしまいました。朝になってわかったの
です」とひとりの女が言うと、「いいえ、死ん
だ子どもがこの人の子です」と、もうひとりの
女が言うではありませんか！

いのちの祈り 天のお父様、王様のもとにやってきたふた
りの女の人の問題はとても難しいものでした。
どうしたらいいのでしょうか？

2月8日（金）

聖書
聖句

列王上3・23～25

王は言った、「生きている子を
二つに分けて、半分をこちらに、
半分をあちらに与えよ」。 25節

ふたりの女が王の前で言い合っています。
「生きているのがわたしの子で、死んだ子があ
なたの子です」と。王様はそれを聞きながら、
突然、命令しました、「刀を持ってきなさい」
と。そこで、家来のひとりが刀を王の前に持っ
て来ると、王は言いました、「生きている子ども
を切って二つに分けなさい。そして半分をひと
りに、もう半分をあちらの女に与えるのだ」と！
ソロモン王様、頭は大丈夫なのですか？

いのちの祈り 天のお父様、とても常識では考えられな
い王様のことばですが、王には何かお考えが
あったのだと思います。

2月9日（土）

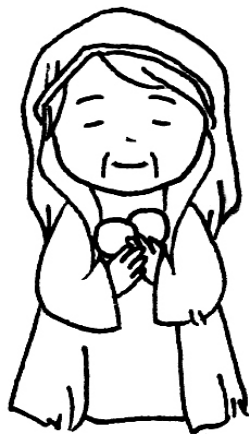
聖書
聖句

列王上3・26～28

生きている子を初めの女に与
えよ。決して殺してはならない。
彼女はその母なのだ。 27節

「やめてくださーい！王様、どうぞ、わが主よ、
生きている子を彼女に与えてください！どうぞ
決して、その子を殺さないでください」とひと
りの女は叫びました。するともうひとりの女
は、「それをどちらのものにもしないでどうぞ
分けてください」と言いました。そこで王は、
「生きている子を初めの女に与えよ。彼女こそ、
その子の母だ」と言いました。すべての民は神が
ソロモン王に与えた知恵をハッキリ見たのです。

いのちの祈り 天のお父様、ほんとうの母親が、やけるよ
うな心で叫んだので、その子の母である、と
知ったソロモン王の知恵に感心します。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 21・1～4
神に喜ばれる献げ物
あの貧しいやもめはだれより
もたくさん入れたのだ。

目標

ルカ 21・3
すべてをご存じの神に喜ばれ
る献げ物をする。

2月10日(日)

聖書
聖句

ルカ 21・1～4

あの貧しいやもめはだれよりもた
くさん入れたのだ。 3節

♪いまささぐるそなえものを、主よきよめて、
お受けください。アーメン♪わたしたちは毎週
日曜日、教会学校で献金の歌を歌いながらおさ
さげします。「イエスは目をあげて……見られ」
とあります！イエス様はわたしたちの献金を見
ておられるのです！ここで、一番たくさん献金
を入れたのは、あの貧しいやもめ（夫が亡く
なった婦人）だとイエス様は言われます。えっ!?
最低のレプタ銅貨2枚をささげた人ですか!?

いの祈り 天のお父様、本当にあなたに喜ばれる献金
はどのように、どれくらいしたらいいのか、今週
しっかり学びたいです。

2月11日(月)

聖書
聖句

ルカ 21・1～4

これらの人たちはみな、ありあまる
中から献金を投げ入れた 4節

金持たちがやってきて、さいせん箱に献金を
投げ入れます。ジャラジャラ、ザザーッって。
まわりの人たちは、目をまんまるくして、「スゴ
イ!」と思いながら、つばを飲んで驚いていた
かもしれません。投げ入れる金持たちも鼻を高
くして、「どうだ!」っていう思いで入れたかも
しれません。ところがです。イエス様から見れ
ば、やもめの献金より少ないというわけです。
それはありあまる中からささげたからです。

いの祈り 天のお父様、イエス様の見方と、わたした
ちの見方とは、あまりにもちがっていることが
よくわかりました。

2月12日(火)

聖書
聖句

ルカ 21・1～4

あの婦人は、その乏しい中から、
持っている生活費全部を入れた
からである。 4節

レプタ銅貨2枚のささげもの、これは献金と
してゆるされていた「最低の金額」だったので
す。それにもかかわらず、そのレプタ2枚をさ
さげた貧しいやもめが、だれよりもたくさん入
れたのだと、イエス様が言われました。という
のは、その献金はやもめの生活費全部だったか
らです。つまり、この婦人は『全部』を、神様
におささげしたというわけです。ですから、だれ
よりもたくさんささげ、神様に喜ばれたのでし
た。

いの祈り 天のお父様、貧しいやもめの婦人はきっと、
心からあなたに感謝し、喜んでおささげした
のです。わたしもならたいです。

2月13日（水）

聖書
聖句

マラキ 3・6～9

しかしあなたがたは、わたしの物を盗んでいる。 8節

ドロボーがおうちに入った！そんな恐ろしいことがありましたか？その時見つけたら、「ドロボー!!」って叫んで追っかけるでしょう。110番に電話するでしょう。何と、神様はマラキという預言者を通して、「あなたがたはドロボーだ！」って、ユダの民に言われます。「わたしのものを盗んでいる」ってね。「え？なぜですか？」と民が言い返すと、「十分の一とささげ物をもって」と神様は言われます。わたしたちは？

いの祈り 天のお父様、あなたの物を盗むなんてことはしたくないです。どうしたらあなたに喜ばれる献金ができるか教えてください。

2月14日（木）

聖書
聖句

マラキ 3・10

わたしの宮に食物のあるように、十分の一全部をわたしの倉に携えてきなさい。 10節

100円玉が10個あったら、わたしのものは9個、つまり900円、神様のものは1個、つまり100円です。これが「十分の一」の献金ですね。へー、神様のものは、たったの1個でいいの？と思ってしまいましたか?!マラキが預言していたころ、「十分の一」を分けても、それを全部、神様の倉に持ってきて、おささげしようとはしなかったのです。わたしたちはみ言葉にしたがって、おこづかいの十分の一をおささげしましょう。

いの祈り 天のお父様、お金はよい事にも悪い事にも使われます。十分の一を神様の尊いご用のためささげさせてください。

2月15日（金）

聖書
聖句

マラキ 3・10

これをもってわたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふれる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。 10節

十分の一でいいのです！本当に十分の一をおささげして、神様をためしてごらんください！と言われます。そうすると、神様は天の窓を大きく開いて、あふれる恵みを注いでくださるとの、お約束です。お米や麦を缶の中に入れてゆすってみると…すきまがつんで、「あれ？まだ入るよ」ということになります。そのように、神様はあふれる恵みをゆすり入れてくださるとの、驚くべきお約束なのです！

いの祈り 天のお父様、み言葉に従って、やってみるのがとても楽しみです。これからちゃんと十分の一献金をします。

2月16日（土）

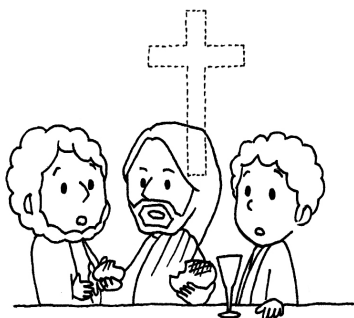
聖書
聖句

ローマ 12・1～2

あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。 1節

「神様に最高に喜んでいただけるささげものは？あのやもめさんは、心より神様に感謝し、喜びをもって、そして、神様はきっと必要を満たしてくださるとの信仰をもって、生活費全部をささげました。それは自分自身を、自分の命をおささげすることでした！実は、わたしたちのからだも命もすべて、神様からいただいているものです。神様に、ぜ～んぶおささげして当たり前。神様は喜んで受け入れ、用いてくださいます。

いの祈り 天のお父様、小さな貧しいわたしですが、ぜ～んぶあなたにおささげします。あなたの清い御用に用いてください。



※イエス様の時代の聖餐式は「ぶどう酒」ですが、私たちは「ぶどう汁」を使うことが多いので、教団式文の通りに、表記を「ぶどう酒(汁)」としました。「汁」の読み方は、「じる」、「じゅう」、または「ジュース」と読みかえる、など教会での読み方を用いてください。

聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 22・14～23

主の晩餐の恵み

これは、あなたがたのために
与えるわたしのからだである。

ルカ 22・19

聖餐の恵みを覚え、キリスト
の十字架による 贖いの恵み
を覚えて生きる。

目標

2月17日(日)

聖書
聖句

ルカ 22・14～23

これは、あなたがたのために与える
わたしのからだである。 19節

♪しみもとがも けがれもなき

小羊わが主は ほふられしや♪

今週はこの賛美ですよ。そう、聖餐式の歌ですね。あなたが洗礼を受けて、神様の子ども、神の家族の一人だったら、パンやぶどう酒(汁)を頂くことができるのです。「おいしそうだなア、ぼくも食べたいな」って、洗礼を受けていないと、そう思うかもしれませんね。イエス様が、いつどのようにして、なぜこの聖餐を定められたのかを学びましょう。

いのちの祈り 天のお父様、どうして皆さんが、パンとぶどう酒(汁)を食べられるのかなア…と思います。今週よくわからせてください。

2月18日(月)

聖書
聖句

ルカ 22・7～13

行って、過越の食事ができるように
準備をしなさい。 8節

イエス様って、不思議なお方だと思いませんか？この日は木曜日、イエス様との最後の夕食の日でした。弟子たちにはよくわかっていなかったのです。準備をしなさいと言われて、「どこに準備したらいいですか？」とたずねました。すると、「市内で水がめを持っている男性がいる家の主人が見せてくれる二階の広間ですよ」との返事。その通りだったのでその二階に過ぎ越しの食事の用意をしました。有名な『最後の晩餐』です。

いのちの祈り 天のお父様、これから、イエス様にとっても弟子たちにとっても、大変な事が起こってきます。緊張してきます。

2月19日(火)

聖書
聖句

ルカ 22・14～19

これは、あなたがたのために与えるわたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい。 19節

まずイエス様は、パンを手にとって感謝をささげてから、弟子たちに与えながら、きょうの聖句を言われました。「イエス様のおからだ？」と弟子たちはきつと首をかしげたことでしょう。そうです、今、一緒に夕食をいただいています。次の日には、イエス様はむごい十字架の上で、傷だらけのお身体になられるのです。わたしたちに代わって肉を裂かれてくださった、そのことを忘れないように記念するのです。

いのちの祈り 天のお父様、パンは、十字架にかかって裂かれたイエス様のお身体をさすのだと知りました。記念していきます。

2月20日（水）

聖書
聖句

ルカ 22・20～23

この杯は、あなたがたのために
流すわたしの血で立てられる
新しい契約である。 20節

杯 — その中には何が入っていたのでしょうか？ぶどうの実から造ったもの、つまり、イスラエルではたくさんのぶどうが実り、収穫され、それをもってぶどう酒をつくりました。ぶどう酒、それは、十字架の上にわたしに代わってかかれ、そこで流された多くの純潔なイエス様の血潮を示しているのです。その血によって、信じるわたしたちは完全にゆるされます！その尊い血潮を心より感謝し、記念して飲むのです。

いのちの祈り 天のお父様、ぶどう酒（汁）は、十字架の上でイエス様が流し尽くしてくださった血潮だとよくわかりました。

2月21日（木）

聖書
聖句

I コリント 11・20～22

あなたがたが一緒に集まるとき、
主の晩餐を守ることができない
でいる。 20節

この手紙は、問題つづき、問題ばかりひき起こしていたコリント教会へのパウロからの手紙です。イエス様があの日、あの夜、最後の晩餐をなさって以来、守られてきたのですが、その中には、先にやってきて、他の人の分まで食べてしまふ、食いしん坊がいて、困っていたのです。て！せっかくの愛の会食が台なしです。そこでイエス様のお弟子のパウロは、みんなでちゃんと分け合って食べるようにすすめます。

いのちの祈り 天のお父様、神の教会での愛の会食を大切に、みんなが感謝し、喜んで食事ができるよう心がけたいです。

2月22日（金）

聖書
聖句

I コリント 11・23～24

わたしは、主から受けたことを、
また、あなたがたに伝えたのであ
る。 23節

パウロという人もまた不思議な人です。彼はクリスチャンを迫害しているまっ只中で、復活のキリストに出会ってガラリと変えられた人です。キリストがパウロにとって「すべて」となられ、その「主から受けたこと」を、コリント教会の人々に、そして今、聖書を通してわたしたちにも伝えていただきます。あの「渡される夜」定められたパンとぶどう酒（汁）による聖餐についてです。その時から始まって、今でも記念されています！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の十字架の死を記念する、パンとぶどう酒（汁）による聖餐が、その日から今も守られていて驚きです！

2月23日（土）

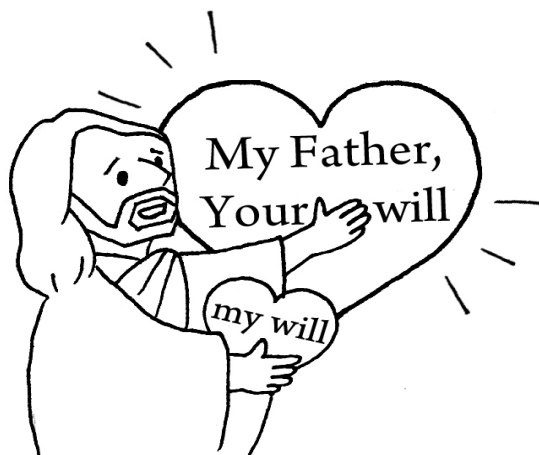
聖書
聖句

I コリント 11・25～26

あなたがたは、このパンを食し、
この杯を飲むごとに、それによ
って、主がこられる時に至るま
で、主の死を告げ知らせるのであ
る。 26節

では、こうして、イエス様の死を記念する聖餐は、いつまで続けられていくのでしょうか？「主がこられる時に至るまで」とあります。そうです。イエス様の再臨まで、ずーっとずーっと記念し続けていくのです。十字架の死は、わたしの罪のためです。感謝して信じましょう。そして、洗礼を受けて、神様の子どもとされ、あなたも聖餐を受けられる人となって、主のおいでを待ち望みましょう。

いのちの祈り 天のお父様、これでなぜパンを食べ、ぶどう酒（汁）を飲むのかよくわかりました。わたしも聖餐を受ける者になりたいです。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 22・39～46

十字架に向かう祈り

しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください。ルカ 22・42
祈りの中で神の御心を選び取る者となる。

目標

2月24日（日）

聖書
聖句

ルカ 22・14～23

しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください。42節

今年のイースターはいつもより早くて3月31日です。その前の24日が受難週の礼拝です。ちょうど一カ月先ですね。今は、イエス様の十字架を想うレント（受難節）の季節に入っています。この週はイエス様のゲツセマネでのお祈りを心に深く刻みましょう。ゲツセマネの地名は「油しぼり」という意味です。とても厳しいひびきです。血の汗をしぼりだすような苦しいお祈りの中で、イエス様は「十字架」という神様のみこころの道へ進む決意をされたのです。

祈り 天のお父様、いつでも一番良い心はあなたのみこころです。苦しくてもあなたのみこころに従えますように。

2月25日（月）

聖書
聖句

ルカ 22・39～40

イエスは出て、いつものようにオリブ山に行かされると、弟子たちも従って行った。39節

イエス様にはいつも行きつけの秘密の場所があったのですね！あなたにも「秘密基地」ってありますか？そこで何をするのでしょうか？！イエス様は、いつものようにオリブ山に行かれて、その中でも「いつもの場所」に着いてから、弟子たちに「誘惑に陥らないように祈りなさい」と言われました。そうなのです。イエス様にはいつでもお祈りするための「いつもの場所」があったのです！あなたははどうでしょう？

祈り 天のお父様、「お祈りできるいつもの場所」ってとても魅力的です！わたしもそんな場所を作ってお祈りします。

2月26日（火）

聖書
聖句

ルカ 22・14～19

父よ、みこころならば、どうぞ、この杯をわたしから取りのけてください。42節

十字架のアクセサリーがありますが、この時イエス様が向かっていた十字架は、そんなナマッチョロイものではありませんでした！「この杯」つまり、むごい十字架を、みこころならばわたしから取りのけてくださいと、実はイエス様は三度も同じ言葉でお祈りされるほどだったのです（マタイ26・44）。どうしても「十字架」でなければならぬものなのでしょうかと。本当に真剣そのもののお祈りだったとわかります。

祈り 天のお父様、わたしを永遠の滅びから救うための十字架にかかれる前の、イエス様のお苦しみに心がつまります。

2月27日（水）

聖書
聖句

ルカ 22・43～44

そのとき、御使が天からあらわれてイエスを力づけた。 43節

「死ぬほどの祈り」だったことが、ほんとによくわかります。ルカはお医者さんでしたが、このゲツセマネの苦しみの祈りについて、どうやって知ったのでしょうか？よみがえられたイエス様にたずねたのでしょうか？それにしても、ひとりで祈りの戦いをされ苦しまれるイエス様のために、なんと御使が天からあらわれて力づけてくださったのです！その汗は血のしたたりのように地に落ちたとは何という苦しみ！

いの祈り 天のお父様、あなたが苦しめられるイエス様のもとに御使をおつかわしくださいましたことを思い、慰められます。

2月28日（木）

聖書
聖句

ルカ 22・45～46

誘惑に陥らないように、起きて祈ってください。 46節

一緒にゲツセマネの園に入った弟子たちは、ペテロ、ヤコブ、ヨハネでした（マルコ 14・33）。3人の弟子たちは、あまりに悲しみが深くて、とうとう疲れ果てて、寝てしまったのでした。あなたもわかるような気がする？とても悲しくてつらいと泣き寝入りしてしまいますよね。イエス様は真剣勝負のお祈りをされていますのに…。誘惑に負けないためには、ちゃんと起きて祈ってくださいとおっしゃられました。

いの祈り 天のお父様、弟子たちの悲しみが伝わってきて泣けてきそうです。でもしっかり起きて祈れる子どもにしてください。

3月1日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 4・31～34

わたしの食物というのは、わたしをつかわされたかたのみこころを行い、そのみわざをなし遂げることである。 34節

「さぞかしお腹をすかせておられるだろう」と、弟子たちはイエス様に「召しあがってください」と言うと、イエス様は何だか晴れ晴れとしたお顔で、「いや、わたしにはあなたがたの知らない食物があるんだよ」と言われます。「？」と首をかしげる彼らにイエス様は、「みこころを行い、みわざをなし遂げるという食物だ」と言われました。一人のサマリヤの女の人を滅びの中から救い出すみわざの後でした！

いの祈り 天のお父様、あなたのみこころを行い、みわざをなし遂げることが食物だったイエス様のようになりたいです。

3月2日（土）

聖書
聖句

詩篇 40・6～8

わが神よ、わたしはみこころを行うことを喜びます。あなたの心にはわたしの心のうちにあります。 8節

これはメシヤ（救い主）としてのイエス様の預言の詩篇です。イエス様はいつでもどこでも、どんな時でも、「みこころを行うこと」を喜ばれました。楽しみとしておられたのでした。神様のおきてがいつもイエス様の心のうちにあったのです。いつも自分のわがままな心でいて、急に突然、神様のみこころを行なうなんてことは無理です。いつも、小さいことでも「みこころ」に従っていて初めて大切な時に従えるのです。

いの祈り 天のお父様、わたしもイエス様のように、ふだんから毎日、あなたのみこころを第一にする生活をさせてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 22・31～34、54～62

キリストのまなざし

主は振りむいてペテロを見つめられた。ルカ 22・61

目標

すべてを見抜いた上で、赦しと回復を与える主のまなざしの中で生きる。

3月3日（日）

聖書
聖句

ルカ 22・31～34、54～62

主は振りむいてペテロを見つめられた。4節

わたしのことって、もっちゃん、わたしが一番よく知っているわよ、と言いますか？ところがそうではないということがこのペテロとイエス様のお話しでよくわかります。「こんなはずじゃなかった…」と、ペテロ自身が一番ビックリしていたのです。その時、そばを通り過ぎて行かれるイエス様が自分を見つめられるまなざしを見ました。ペテロだけが見たまなざし!!ゆるしのまなざしでした。

いのちの祈り 天のお父様、ペテロを一番よく知って祈ってください。イエス様がわたしのことも知っていてくださり感謝します。

3月4日（月）

聖書
聖句

ルカ 22・31～34

わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った。32節

「ふるい」ってわかりますか？竹で編んだもので、ゆさゆさゆすったり、空中にあげたりして穀物の殻を飛ばして、中に実だけが残るようにする道具です。ちょうどサタンも、そのように人をふるいにかけて落とそうとします。イエス様は、「シモン・ペテロよ、あなたもそうされて、失敗してしまうよ、でもあなたの信仰だけはなくならないようにお祈りしたから、立ち直ったら兄弟たちを力づけてあげるんだよ」と言われます。

いのちの祈り 天のお父様、人はだれでも弱くて、失敗します。でもそんなわたしのために、お祈りしてください。イエス様に感謝です。

3月5日（火）

聖書
聖句

ルカ 22・31～34

主よ、わたしは獄にでも、また死に至るまでも、あなたと一緒に行く覚悟です。33節

「とんでもない！イエス様。サタンのふるいなど何でしょう？わたしはあなたとなら獄にでも一緒しますよ。たとい死ぬようなことになっても、どこまでもあなたと一緒に行く覚悟は十分にできていますよ」と、ペテロはきくと、キッパリと言ったにちがいません。もちろん、ペテロは本気でそう言ったのです！そうするつもりだったのです。本当に。でも自分の本当の姿って、わかっていないのですね。

いのちの祈り 天のお父様、「本当のわたし」をあなたは知らせてくださることがよくわかりました。大切だと思えます。

3月6日（水）



ルカ 22・31～34

きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう。 34節

イエス様は、本当に不思議なお方です。これからペテロの身に起ころうとすることをとても細かくハッキリと言われました。マルコ 14・30には、「あなたによく言うておく。きょう、今夜、にわとりが二度鳴く前に、そう言うあなたが、三度わたしを知らないと言うだろう」と、なんとにわとりが鳴く回数まで言うておられるではありませんか！まさに、「全知」、すべてをご存知の神様のひとり子なるお方ですね！

いのり 天のお父様、イエス様の目には、わたしのすべてが丸わかりなのだと知って、あなたにおまかせして歩みます。

3月7日（木）



ルカ 22・54～55

ペテロは遠くからついて行った。 54節

ついにオリブ山のゲッセマネの園で、イエス様は捕えられてしまいました。ひっぱられて、大祭司の邸宅へつれて行かれます。ペテロの心の中が読めるみたいです。イエス様のことがとても気になる、でも、あまり近づいて行くのもおそろしい…だから、遠くからついて行ったのでした。中庭のまん中にはたき火があって、人々は一緒にそこにすわっていたので、ペテロも荷食わぬ顔をしてそっとすわりました。

いのり 天のお父様、「獄にまでも死にまでもあなたとご一緒に」と言ったペテロの気持ちが変化してきているのがわかります。

3月8日（金）



ルカ 22・56～60

ペテロはそれを打ち消して、「わたしはその人を知らない」と言った。 57節

「この人もイエスと一緒にいました」。突然、女の人の声がひびきました。ひとりの女中が火のそばにすわっているペテロを見て、叫んだのです。すると、ペテロはそれを打ち消して、「わたしはその人を知らない」と言うてしまったのです！ペテロも自分の口から出たことばに耳を疑ったかも。またしばらくしてほかの人に「仲間だ」と言われ「ちがう」と答え、一時間後、三度目に「知らない」と言うてしまったのでした。

いのり 天のお父様、イエス様の言われたとおりになりました。ペテロの心の中はきっと怖い気持ちで一杯だったのでしょうか。

3月9日（土）



ルカ 22・61～62

そして外へ出て、激しく泣いた。 62節

「コケッコー！」ペテロはハッとしたでしょう。その時、そばを通られるイエス様がふりむいてペテロを見つめられたのでした。じっとペテロの眼をのぞき込むようにして見つめられたのです。ペテロはそのイエス様のまなざしの中で主のお言葉を思い出して、外へ出て、男泣きに激しく泣きました。そのイエス様のまなざしは、ペテロしか知りません。それは「祈ったよ、ゆるしているよ」と語ってくださっていたにちがいありません。

いのり 天のお父様、すべてを見ておられ知っておられ、でもゆるしてくださるイエス様のまなざしのうちを歩きたいです。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 23・13～25
身代わりの十字架
神はわたしたちの罪のために、
罪を知らないかたを罪とされ
た。Ⅱコリント 5・21
キリストの身代わりの十字
架による罪の赦しを受け取る。

目標

3月10日（日）

聖書
聖句

ルカ 23・13～25
神はわたしたちの罪のために、
罪を知らないかたを罪とされた。

Ⅱコリント 5・21

わたしたち人間は、みんな罪の中に生れてき
ました。初めの人アダムの罪のためです。だから
教えてもらわなくても、うそもつけるし、わ
がままも言えるし、けんかもできる！のですね。
でもイエス様は全然、罪を知らないし、一つも罪
を犯したことのないお方でした。そのイエス様
が十字架につけられたおかげで殺人犯のバラ
バがゆるされたように、罪深いわたしの身代わ
りにイエス様が死んで罪がゆるされるのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の身代わりの十字架
を心よりありがとうございます。罪がゆるされ
る喜びを感謝します。

3月11日（月）

聖書
聖句

ルカ 23・13～16
この人はなんら死に当たるような
ことはしていないのである。 15節

ローマ皇帝テベリオに任命されたユダヤ州
第5代総督のポンテオ・ピラトは、ユダヤ人が
訴えてきたイエスには、訴えられるような罪
は少しもなかったと祭司長たち、役人たち、民
衆に言いました。その時のユダヤの王ヘロデも
同じように言って、ピラトから送られてきたイ
エスを送り返してきました。「だから、彼をむち
打ってから、ゆるしてやることにしよう」と。
イエス様は一つも罪を犯されなかったので当
たり前でした！

いのちの祈り 天のお父様、ひどいさばきさえたピラト
やヘロデでさえもイエス様にはどんな罪もみ
とめられなくて当然でした。

3月12日（火）

聖書
聖句

ルカ 23・17～19
彼らはいっせいに叫んで言った、
「その人を殺せ。バラバをゆるして
くれ」。 18節

なぜか祭があるたびに、ピラトはひとりの
囚人をゆるしてやることになっていたよう
です。それでピラトは「むち打ってから、ゆるし
てやることにしよう」と言ったのです。とこ
ろがです。ユダヤ人たちは、そんなことはあ
つてはならないとばかりに叫んで言いました、
「その人を殺せ。バラバをゆるしてくれ」と！
バラバ…この人は暴動と殺人の罪で獄にいた
人なのです。この人をゆるせですって…？！

いのちの祈り 天のお父様、人間の判断には狂いが多い
です。さらに多く集まる群衆となるとますます狂
うことがよくわかります。

3月13日（水）

聖書
聖句

ルカ 23・20～21

ピラトはイエスをゆるしてやり
たいと思って、もう一度かれら
に呼びかけた。 20節

ある時には、とてもひどいさばきをしたピラトも、このイエス様のことについては、「イエスをゆるしてやりたいと思って」いました。そこで、もう一度、彼らに呼びかけました、「彼をゆるしてやることにしてはどうか」と。しかし、どうでしょう。彼らはますます声高く叫び、いえ、もうわめきたてて言いつづけました。「十字架につけよ、彼を十字架につけよ！」と。恐ろしい恐ろしい叫びが響き続けたのです。

いのちの祈り 天のお父様、「群衆心理」とはとても怖い
です。「赤信号みんなで渡れば怖くない」とは、
とんでもない事です。

3月14日（木）

聖書
聖句

ルカ 23・22～23

彼らは大声をあげて詰め寄り、イエ
スを十字架につけるように要求し
た。そして、その声が勝った。23節

それでもまだピラトの良心（みんなの心に
神様が与えていてくださるものですね。悪いこ
とをするとチクチク痛む心です）は、彼らの叫
びを受け入れることができません。それで、三度
目に言います、「この人が一体どんな悪事をし
たのか。死に当る罪は全くみとめられない。ゆる
そう」と。しかし、です。今度は彼らは大声を
あげるだけでなくピラトに詰め寄り「十字架
に！」と要求します。そしてついに、その声が
勝ったのです。

いのちの祈り 天のお父様、ひとりの人が、良心の声に聴
き従いぬくことがどれほどに難しいことなの
か、よくよくわかります。

3月15日（金）

聖書
聖句

ルカ 23・24～25

ピラトはついに彼らの願いどお
りにすることに決定した。 24節

ピラトの良心の声は、群衆の声に打ち負か
されてしまいました。そして、三度も頑張った
ピラトでしたが、ついにバラバをゆるし、イエ
スをユダヤ人たちの手に渡すことに決定したの
でした。普通に考えても不可解な、つまりとて
もわからない、おかしいことです。罪のかけら
もないイエス様が十字架で処刑されて、恐ろしい
暴動・殺人犯のバラバがゆるされる！まさに身
代わりの十字架そのものだったのですね。

いのちの祈り 天のお父様、このバラバがわたしなのだ
とよくわかりました。イエス様の身代わりの
十字架によるゆるしを感謝します。

3月16日（土）

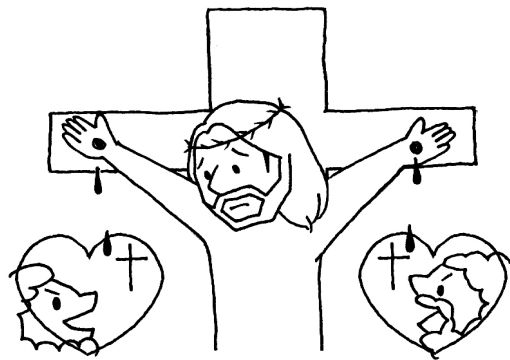
聖書
聖句

Ⅱコリント 5・14～17

生きている者がもはや自分のため
にではなく、自分のために死んでよ
みがえったかたのために、生きるた
めである。 15節

罪深いわたしの罪が、全部ゆるされる所、そ
れがイエス様の身代わりの十字架です。そして
そればかりでなく、このように考えると、パウ
ロは書いています。つまり、イエス様がわたし
たちすべての者のために死んだことは、すなわ
ちわたしたちもそこで一度死んだことになりま
す。そして、今生きている者はもはや自分のた
めではなく、死んでよみがえられたイエス様のた
めに生きる者とされています。本当に新しい
生き方ですね。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様のために、イエス様
と共に、イエス様を心に生きられる祝福を本
当にありがとうございます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 23・32～38

十字架上的祈り

父よ、彼らをおゆるしてください。
い。彼らは何をしているのか、わ
からずにいるのです。ルカ 23・34

目標

キリストの十字架は自分のた
めと知り、罪の赦しを受け取る。

3月17日（日）

聖書
聖句

ルカ 23・32～38

父よ、彼らをおゆるしてくださ
い。彼らは何をしているのか、
わからずにいるのです。34節

わたしにむかって、さんざん悪口言ったり、
暴力をふるってきたりする人をどう思うで
しょう？「ゆるせない！！」かな？ところが、
この苦しい十字架の上で、イエス様は、自分
に つばきしたり、あざけったり、ムチ打ったり、
ののしったり、ついに殺そうとしている「彼ら」
のために、父のゆるしをお祈りしたのでし
た！！「何をしているのか、わからないでいる
のです」から、と！完全な無条件のゆるしと愛の
祈りでした。

いの祈り 天のお父様、イエス様の心の中心は信じられ
ないほどの愛が、「彼ら」のために燃えていたの
だと知り心が熱くなります。

3月18日（月）

聖書
聖句

ルカ 23・32～38

人々はそこでイエスを十字架につ
け、犯罪人たちも、ひとり右に、ひ
たりは左に、十字架につけた。33節

ゴルゴダ（されこうべ）と呼ばれていた所に
着きました。それまでの道のりを、イエス様は必
至の思いで自分がつけられる十字架を負っ
て歩いてこられました。そこには三本の十字架
が立つことになりました。真ん中にはその三人
の中でも極悪人、一番罪深い人がつけられます。
なんとそれはイエス様だったのです！右と左
には、本当に十字架刑になって当たり前の「犯
罪人たち」がつけられました。本当に痛みの絶
頂だったでしょう。

いの祈り

天のお父様、三人の中でも一番の悪人とし
て、イエス様が真ん中の十字架につけられた事
を知り驚きました。

3月19日（火）

聖書
聖句

ルカ 23・34～38

あなたがユダヤ人の王なら、
自分を救いなさい。37節

十字架のふもとにはいろんな人がいました。
イエス様の着物をくじ引きで分ける人々、立っ
て見ている人々、あざ笑っている役人たち、の
のしる兵卒たち…。「これまで彼は多くの他
人を救ってきた。もし本当に彼が神のキリスト、
選ばれた者だったら、自分自身を救うがよい」、
「あなたがユダヤ人の王なら、自分を救え」と、
あざけりとののしりの声です。十字架から降り
ることが救いだとか勘ちがいでいたのです。

いの祈り

天のお父様、人間の知恵は、なんと浅はか
なものでしょう。そして、その心は冷たく罪深
いものです。ゆるしがが必要です。

3月20日（水）

聖書
聖句

ルカ 23・34

父よ、彼らをおゆるしてください。
彼らは何をしているのか、わから
ずにいるのです。 34節

「彼らは何をしているのか、わからずにいる
のです」とのイエス様の祈りはズバリ命中！っ
て感じます。この「彼ら」とは、その時十字架
のふもとにいた人々だけのことを言っているの
だと思いませんか？いいえ、そうではありません。
実は、あなたのこともわたしのことも、そう、全
人類ひとりひとりのことをさしているのです。
わたしたちはみんなわからないで罪ばかり犯し
ています。そのわたしもゆるしていただけるの
です。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様のこのお祈りと流し
てくださった命の血によってのみ、罪ゆるされ
る事を感謝いたします。

3月21日（木）

聖書
聖句

使徒7・51～53

あなたがたは、いつも聖霊に逆
らっている。それは、あなたがたの
先祖たちと同じである。 51節

このイエス様を信じて救われる時、わたした
ちもまた、イエス様のように祈ることができる
ようになれる。ここにはステパノという、信仰
と聖霊とに満ちた人が登場します。あまりにも
知恵があり、御霊で満ちた人だったのでだれも
議論に勝てません。人々はシャクにさわって
迫害を始めました。天使のような顔をした若い
ステパノは、アブラハムから始まるイスラエル
の歴史を話し、「あなたがたも不信仰な先祖たち
と一緒にだ！」と語りました。

いのちの祈り 天のお父様、あなたの聖霊に満たされる時、
人々の罪がよくわかり、罪だ！と言える勇気も
出ることを知ります。

3月22日（金）

聖書
聖句

使徒7・54～58

ああ、天が開けて、人の子が神の
右に立っておいでになるのが見
える。 56節

ステパノは議会で自分を訴えた人々に、「正
しいかたを裏切る者、また殺す者となった」
(52) と、「正しいイエス様を、あなたがたは殺
してしまっただけで、追ったのでした！これを聞いた
人々は怒り狂って、ステパノに向かって歯ぎ
しりしました。その中でステパノが天を見つめ
ていると、天が開けてイエス様が神の右に立っ
ておられるのが見えたのです。それを聞いて人
々は、叫びながら彼を町の外に引っ張り出して
石で打ち殺しました。

いのちの祈り 天のお父様、迫害されているステパノのた
めに、イエス様は神の右に立って彼を支えたこ
とがわかりました。

3月23日（土）

聖書
聖句

使徒7・59～60

主よ、どうぞ、この罪を彼らに負わ
せないで下さい。 60節

小さい石が、一つでもカツンって頭にでも当
たったらイタイです。もし血でも吹き出したら
ゾッとします。この時、ステパノめがけて、小
さい石ではありません。持てるだけの大きな石も飛ん
できたのでした。それで人が死ぬほどの石打ち
です！その中で、ステパノは祈りました。祈り
つづけたのです。「主よ、どうぞ、この罪を彼ら
に負わせないで下さい」と！この祈りは、イエ
ス様の十字架の祈りと全く同じものでした。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の救いはすばらしい
です。わたしも罪ゆるされて、このゆるしの祈り
のできる子どもになりたいです。

パーム・サンデー



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 23・39～43

十字架による救い

あなたはきょう、わたしと一緒に
パラダイスにいるであろう。

ルカ 23・43

目標

悔い改めと信仰を持って、
十字架による救いを受け取る。

3月24日（日）

聖書
聖句

ルカ 23・39～43

あなたはきょう、わたしと一緒に
パラダイスにいるであろう。
43節

きょうは「パーム・サンデー」、棕櫚の主日です。人々がエルサレムに入城される、ろばの子に乗ったイエス様を、「ホサナ！ホサナ！（わたしたちを救ってください、の意味）」と叫びながら、棕櫚の枝をふってお迎えした記念日です。そして、その週の金曜日に、その叫びは「十字架につけよ！」に変わりました。全人類は、三本の十字架の真ん中の主の十字架でハッキリと右と左に分かれます。救いか？滅びか？あなたはどちらに？

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の救いの十字架を感謝いたします。わたしも罪を悔い改め、イエス様を救い主と信じます。

3月25日（月）

聖書
聖句

ルカ 23・39

あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救ってみよ。
39節

わたしたち人間は目の前のことしか見えな
し、わからない者たちです。イエス様の隣の
十字架につけられていた犯罪人のひとりの人が、
「キリストなんだろう？！それだったら、自分
を救い、われわれも救ってみよ？！」とイエス様
にずーっと悪口を言いつづけました。その人
にとっての「救い」とはその場限りの、十字架か
ら降りるということでした。本当の救いは、大
きな深い愛のご計画で、それは主の十字架の身代
りの死なのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様が周りのあざけりの
声になど気にも止めず、救いの十字架にとどま
ってください感謝です。

3月26日（火）

聖書
聖句

ルカ 23・40～41

お互いは自分のやった事のむく
いを受けているのだから、こう
なったのは当然だ。
41節

「お父さんにお尻ペンペンされても仕方ない
よな」って、覚悟したことってあるでしょう？
そういうのを「認罪」といって、とても大事な
ことなのです。救われる一歩手前ですよ！片方
の犯罪人の心に変化があらわれてきました！
悪口を言いつづける反対側の犯罪人に話しかけ
ます。たしなめたのです。それはちがうだろ
うって。われわれがこうなるのは当たり前だ、で
も「この方は何も悪いことはしなかったのだ」
と。

いのちの祈り 天のお父様、ひとりの犯罪人はイエス様
のお祈りを聞いてからでしょうか？心の向きが
変わったのがわかります。

3月27日（水）

聖書
聖句

ルカ 23・42

イエスよ、あなたが御国の權威をもっとおいでになる時には、わたしを思い出してください。 42節

イエス様の愛とゆるしに満ちたとりなしの祈りを聞いて、もうひとりの犯罪人の心の目が開いたのです！「イエスと言われるこの方は、何の罪も犯さないお方だったが、われわれの身代わりに十字架に死んでくださったのだ。この方こそメシヤだ。そうだ、やがて、天の御国が打ち建てられる時が必ず来る。御国の權威をもつて、再び来られる時、『わたしを思い出してください、Remember me.』と祈ろう」と。

いの祈り 天のお父様、わたしもきょう心よりへりくだって、Remember me. わたしを思い出してください、とお祈りいたします。

3月28日（木）

聖書
聖句

ルカ 23・43

よく言うておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。 43節

イエス様の超スピードアンサー！！やがて御国の權威をもっとおいでになる時を待つことはありません。「きょう」とイエス様は言われます！そうです、信じた今！です。あすでも、あさってでもありません。「きょう」です。「よく言うておくが」です。「あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるよ！」と言ってください。イエス様と共にいる所は、どこもパラダイス！犯罪人は感激のきわみだったでしょう。

いの祈り 天のお父様、信じるなら、その場で救われて、天の御国に住む者とされる、これこそグッド・ニュースです！

3月29日（金）

聖書
聖句

ルカ 23・44~46

父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます。 46節

イエス様の救いは、「きょう、今」であると共に、「永遠」です！このみ言葉は、十字架の上で言われた七つの言葉の一番終り、第七言です。十字架の上で救いのみわざを完成されたのち、イエス様は、ご自分のすべてを父なる神様にお任せしながら息を引きとられました。父なる神様のみ手のわざにいっさいをおゆだねされて。やがて、復活されたのでしたね！信じるわたしたちもぜーんぶ安心しておゆだねできるのです。

いの祈り 天のお父様、わたしの体も心も霊も、みんな、イエス様のようにあなたにおゆだねして永遠の救いに入れられ感謝です！

3月30日（土）

聖書
聖句

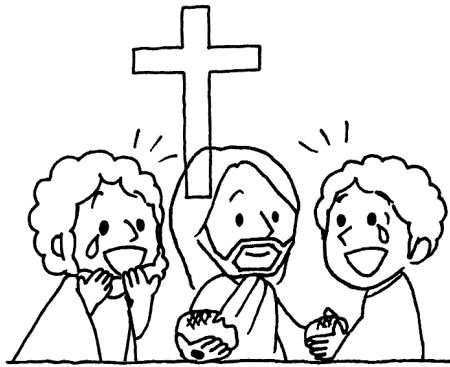
ルカ 23・47~49

ほんとうに、この人は正しい人であつた。 47節

ローマの兵隊の百卒長が、「まことにこの人は神の子であつた」と言ったと、マタイ27・54に記されています。イエス様が苦しい十字架の上で七つのお言葉を言われ、最後には、あまりにもおだやかにご自分の霊を父なる神様におゆだねして、息を引きとられたのを見たからでした。マルコ15・39にも「神の子であつた」と記されています。わたしたちも罪を悔い改めて、神の子イエス様を救い主と信じましょう。

いの祈り 天のお父様、罪深いわたしのために、救い主、神のひとり子イエス様をお与えくださって心からありがとうございます。

イースター



Happy Easter!!

聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 24・13～32

霊の目を開かれて

彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった。

ルカ 23・31

目標

霊の目を開いて頂いて、復活のキリストを見る者となる。

3月31日(日)

聖書
聖句

ルカ 23・13～32

彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった。31節

目はあいていて、見ているようでも、何も見えていない目のことを「ふし穴」と言います。ただの黒い穴だとね。エルサレムからエマオに向かうふたりの弟子たちの目も、イエス様によって開かれるまでは「ふし穴」でした。四つのふし穴!! 実は彼らの目には、いろんなメガネがかかっていて見えていなかったんだということがわかります。でもある時、ある瞬間、心の目が開けて、イエス様が見えた! 最高の瞬間でした。イースター、おめでとうございます!!

いのちの祈り 天のお父様、わたしの心の目をふさいで「ふし穴」にするものを取り去ってくださっていつもイエス様が見えますように。

4月1日(月)

聖書
聖句

ルカ 24・13～16

イエスご自身が近づいてきて、彼らと一緒に歩いて行かれた。15節

イエス様の十字架の死と復活のニュースは、きっと広く遠く知らされていったにちがいないですね。エルサレムからエマオの村へ行こうとしていたふたりのお弟子さんたちの話題もそのことでした。ふたりは、「アレコレ、アレコレ、ああでもない、こうでもない、ペチャクチャ」とその事について語り合いつつ歩んでいました。人はいつもそうです! そこへなんと、イエス様が近づいてきて一緒に歩かれたのです。

いのちの祈り 天のお父様、人はよく知らないでアレコレ話しますが、実際に復活されたイエス様のご臨在がすべてです。

4月2日(火)

聖書
聖句

ルカ 24・17～18

彼らは悲しそうな顔をして立ちどまった。17節

ふたりの弟子たちには、その見知らぬ人がイエス様だとはわからなかったのです。「なんのことを語り合っているのか?」と尋ねられるイエス様のユーモア!! ふたりの弟子たちは、「悲しそうな顔をして立ちどまった」とあります。そうなのです。彼らの目には『悲しみの色メガネ・サングラス』がしっかりかかっていたのです。悲しみがあまりに大きく深いと、イエス様のことが見えなくなってしまうのです。

いのちの祈り 天のお父様、あまり悲しみすぎてイエス様を見失ってしまうことがないように、しっかり注意していきます。

4月3日（水）

聖書
聖句

ルカ 24・19～21

わたしたちは、イスラエルを救うのはこの人であろうと、望みをかけていました。 21節

あなたもガッカリ！することがありますか？
ここでこのふたりの弟子たちもガッカリ！失望しちやった心だったのです。「なんの話をしているの？」と聞かれ、「都で起ったことを知らないのですか？」と言うと、その人は「それは、どんなことか」と言います。ここにもイエス様のユーモア！彼らはナザレのイエスこそイスラエルを救う方だ、と望みをかけていたのに一と、『失望のサングラス』でしたね。

いのちの祈り 天のお父様、本当はイエス様は輝かしく復活され、今、目の前におられるのに…失望は目を見えなくするとわかりました。

4月4日（木）

聖書
聖句

ルカ 24・22～27

ああ、愚かで心のにぶいたため、預言者たちが説いたすべての事を信じられない者たちよ。 25節

ふたりの弟子たちは、数人の女たちが、「イエスは生きておられる」と御使に告げられたこと、他の弟子たちがお墓に入るとイエスが見当たらなかったと知らされたことを話しました。するとイエス様は、ため息まじりに、「ああ、なんという不信仰！」と嘆かれました。そうです、『不信仰というぶ厚いサングラス』がかかかっていて全く見えなかったのです。イエス様はモーセから始めて、ずっと聖書全体を、ご自身について解き明かされました。

いのちの祈り 天のお父様、聖書をもっともっと読み、お話ををもっともっと聞いて、しっかり信じる心の持ち主になしてください。

4月5日（金）

聖書
聖句

ルカ 24・28～29

わたしたちと一緒に泊まり下さい。もう夕暮になっており、日もはや傾いています。 29節

エマオの村に近づきました。その旅の人が先へ行こうとされるので、ふたりの弟子たちは、ぜひにと、引き止めてお願いしました。「わたしたちと一緒に泊まり下さい」と。ふたりの弟子たちは、実はとってもよいことをしたのです。きょうのみ言葉は新聖歌336「日暮れてやみはせまり」という歌になっています。「主よ、ともに宿りませ」(Abide with me.)で、昨年のロンドン五輪の開会式で演奏された曲です。

いのちの祈り 天のお父様、わたしもいつも「イエス様、わたしとともにいてください」とお祈りして、日々主と共に過ごしたいです。

4月6日（土）

聖書
聖句

ルカ 24・30～32

道々お話しになったとき、また聖書を解き明かしてくださったとき、お互いの心が内に燃えたではないか。 32節

「あーッ、イエスさまー！！」っと、ふたりの目が開けて、イエス様だとわかったのです！それは、一緒に食卓につかれて、パンを取り、祝福してさき、彼らに渡しておられるうちに、でした。「イエス様だーっ！」ってわかった瞬間に、お姿が見えなくなりました。その時ふたりはしみじみと思い当たるふしがあったことに気付きました。「そうか一聖書を解き明かしてくださった時、心が熱く内に燃えたよね」って。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様について書かれている聖書を読む時、ますます心の目を開いてイエス様が見えるようにしてください。